

栄えある受章おめでとうございます

秘書係 ☎ 25 1105

旭日双光章



産業振興功労

小林 嗣雄さん (75)

(安楽島町)
元鳥羽商工会議所
副会頭

有限会社小林鉄工代表取締役社長として昭和63年より鳥羽商工会議所の議員となり、平成9年から常議員に就任された後、平成25年11月から令和3年6月まで副会頭を務められ、多年にわたり経済産業振興に尽力されました。

受章の声

このたびは受章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。
この受章はひとえに商工会議所会員のみなさまをはじめ、多くのかたがたのご協力のたまものだと思います、心から感謝とお礼を申し上げます。
今後は、長年培った経営の経験を生かし、地域の活性と発展のために尽力してまいります。

瑞宝双光章



消防功労

小野田 繁さん (70)

(志摩市)
元鳥羽市消防団団長

昭和48年から鳥羽市消防団員となり、平成21年4月から10年にわたり消防団長として、精神的・肉体的に労苦の多い環境において、業務に精励し、消防力の強化・充実に尽力されました。

受章の声

このたびは叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。
これもひとえに今まで支えてくださった多くのみなさまがたの温かいご指導、ご支援の賜物と心より御礼申し上げます。今後はこの栄誉に恥じぬよう地域の防火啓発、防災活動に貢献してまいります。

瑞宝双光章



警察功労

竹内 洋利さん (73)

(松尾町)
元警視正

40年にわたり三重県警察に勤務され、皇室来県に伴う警衛業務や、平成16年の台風21号に伴う旧宮川村大規模土砂災害警備などに従事され、地域の安全・安心に尽力されました。

受章の声

三重県警察在職40年。度々転勤を重ねてきましたが、この間、内外の要人警護や地震・風水害などの災害対策に従事してきました。「県民・市民の安全と安心の確保」を念頭に置いて日々取り組んできましたが、あらゆる場面で多くのかたがたから協力をいただいたことにより無事与えられた任務を達成できたと思っております。このたび、叙勲の栄誉を賜ったことは身に余る光栄です。

瑞宝双光章



学校保健功労

中世古 一さん (86)

(鳥羽一丁目)
学校医

昭和46年の中世古眼科開業と同時に、市内小中学校において眼科学校医として従事し、現在に至るまで地域の子どもの健康管理や学校保健の向上に努めておられます。

受章の声

瑞宝双光章をいただき、市長様から祝電も。紙面をお借りし御礼申し上げます。
診療は学びの場、診察室は小さな道場。50余年、やっと初段の証明?授けられた様。それに「Egoと他他」は難しい因数分解。「鏡に映った自分の内に答えがありそう」
脚下照顧しつつ、一燈照隅できるように、毎日が生涯教育。
—実るほど 頭を垂れる 稲穂かな—
淋しいことに学校検診も長い間に生徒も激減、廃校も増えています。自分も高校まで鳥羽で育ち、故郷に戻り、母なる大地に帰ることに。
—ひらひらと 裏表見せ 散る紅葉—
静かな余生が過ごせますように。